

ソナタ形式 基本構造とその応用

～作品分析を中心に、それを生かした指導法を考える～

ハイドン、モーツァルトなど古典の時代に確立されたソナタ形式。ベートーヴェンによって進化し、実に多くの作品が生まれました。ピアノソナタ、ヴァイオリンソナタ、交響曲、弦楽四重奏曲、ピアノ協奏曲などこの時代のほとんどの作品の主要楽章はソナタ形式で書かれています。『古典の時代はソナタの時代』。もし、この形式が無かったら、西洋音楽はこんなに発展しなかったのではないのでしょうか！

しかも、このソナタ形式はそれ以降現代まで、形を変え、様々に応用され使われているのです。現代音楽でさえ、ソナタ形式の理念をコンセプトにした作品は実に多いのです。

今回は、皆さんよくご存知の《ソナチネ》と古典の《ソナタ》作品を取り上げます。実際に楽曲分析をしながら基本構造を確認し、その形式がどのように応用して作曲されているのかを紐解いてみたいと思います。

Lecturer **藤原 嘉文**(ふじわら よしぶみ)先生

作曲家。東京藝術大学作曲科卒、同大学院修了。
日本交響楽振興財団第4回作曲賞、FMW 2001 in Melbourne等に入選。
2010年、CD「巡りあう時空～藤原嘉文作品集」をリリース。
2013年、共著「平均律クラヴィア曲集 分析・演奏」(全曲録音CD付)を出版。
現在、山梨大学大学院教授、昭和音楽大学講師、日本現代音楽協会、
日本作曲家協議会、国際芸術連盟各会員、日本音楽表現学会理事。



日時 **第1回：2016年10月26日(水)10:30～12:30**
ソナチネ 第1番 (Kuhlau op.20-1)・第7番 (Clementi:op.36-1)
Beethoven：ソナタ第1番 op.2-1(いずれも第1楽章)を中心に
第2回：2016年12月14日(水)10:30～12:30
Kabalevsky：ソナチネ第1番 ハ長調 op.13-1
Beethoven：ソナタ「月光」op.27-2(いずれも第1楽章)を中心に

会場 内藤楽器ハーモニーBOX (甲府市塩部4-13-8)

受講料 一般 3,000円
(1回につき) ピティナ会員 2,500円
ピティナ甲府支部会員 2,000円

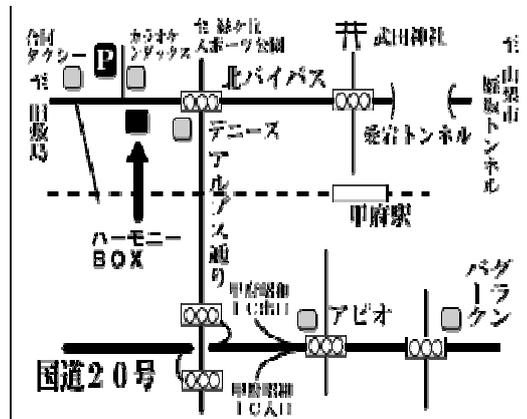
持ち物 カラーペン数色、五線紙、ソナチネアルバム1巻楽譜
※各回で取り上げる曲(上記・第1楽章のみ)のコピーをご用意下さい

申込方法 FAXまたはお電話にてお申し込み下さい

主催・お問い合わせ・お申し込み先

※駐車場は台数制限がございます。乗り合わせでのご来場をお願い致します

PTNA(ピティナ・全日本ピアノ指導者協会)甲府支部 (内藤楽器ハーモニーBOX内)
TEL:055-253-4711 FAX:055-252-7429 (営業時間 10:00～18:00 月曜定休)



◆10月26日・12月14日 藤原先生講座申込書◆ FAXでもお申込み頂けます

氏名	ふりがな	会員種別	<input type="checkbox"/> 一般
			<input type="checkbox"/> ピティナ会員
住所	〒	TEL	<input type="checkbox"/> ピティナ甲府支部会員
			FAX
受講希望日	<input type="checkbox"/> 10月26日・12月14日両日 <input type="checkbox"/> 10月26日のみ <input type="checkbox"/> 12月14日のみ		